

令和4年度 大阪大学大学院副専攻プログラム提案書（新設・継続・募集停止・募集再開）

令和3年9月9日

プログラム名	和文	国際公共政策学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）	
	英文	International Public Policy (Multilingual Expert Program)	
提案（幹事）部局	部局名	国際公共政策研究科	
	実施責任者 （所属・職名・氏名）	赤井 伸郎（国際公共政策研究科教授・研究科長）	
連携部局	なし		
履修対象者	下記履修資格・条件の要件を満たす修士もしくは博士前期課程の学生		
修了要件	修了要件単位（科目）数	本大学院プログラム科目から14単位以上修得すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。	
	14 単位以上		
趣旨・概要	<p>「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの公共政策課題について、自分の意見を広く世界に発信したり、解決に向けて指導力を発揮をしたりできるような人材の育成を目指す。</p>		
到達目標 （修了時に身につく能力）	<p>本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。</p> <p>①国際公共政策学（法学、政治学、経済学）について十分な研究能力を備えている。 ②高度の専門性が求められる職業を担うための能力を十分に有する。 ③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。</p>		
カリキュラムの構成	<p>上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、国際公共政策研究科が開講する科目の中から、国際法、国際関係論、経済学などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。</p>		
履修資格・条件	<p>【履修対象】</p> <p>1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」もしくは「経済学・経営学」を修了した学生で、令和4年4月に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻_応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。 2. 上記1以外の者で、令和4年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻_応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は令和3年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。 【定員】若干名 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上、履修生を決定する。</p>		
前提知識の目安	特になし。		
特記事項	大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、令和4年4月に発足する予定である。		